

報道関係者 各位

令和6年4月23日
宗像市 高齢者支援課
人権対策課



安心して認知症になれるまちを目指して

認知症希望大使 丹野智文さんと考える講演会・映画上映会

2025年には、65歳以上の高齢者の5人にひとりが認知症になるといわれ、宗像市では約6,000人(市内の小学生の数と同等)が認知症になると予測されています。認知症になっても希望を持って暮らすことができる社会を目指して、市では認知症本人が想いや希望を語る場「本人ミーティング」の開催などの啓発を行っていますが、「発症すると何もできなくなる」という認知症のネガティブなイメージは依然として残っています。

今回、自分が身の回りの人が認知症になったときの備えや関わり方、認知症を正しく理解してもらうきっかけづくりを目的に、認知症希望大使として活躍する丹野智文さんを招いた講演会・映画上映会を開催します。若年性アルツハイマー型認知症と診断されている丹野さんとの対話を通じて、「認知症になっても希望を持ち、自分らしく暮らす」という明るいイメージが広がることを目指します。

「オレンジ・ランプ」映画上映(有料:当日券1,000円、前売券900円、ユリックス会員700円)

日時 令和6年5月15日(水)10時30分~、14時~

会場 宗像ユリックス ハーモニーホール(宗像市久原400)

内容 丹野智文さんとその妻の9年間の軌跡を実話に基づく物語

講演会(無料)

日時 令和6年5月16日(木)14時~16時

会場 宗像ユリックス ハーモニーホール(宗像市久原400)

対象 宗像市民(定員500名)

内容 第1部 地域の中で暮らしていくこと(地域活動の紹介)

東郷地区 やよい東郷 / 赤間西地区 大谷慶人クラブ

第2部 地域に期待すること(トークセッション)

認知症希望大使 丹野智文氏、

福岡県若年性認知症サポートセンター長 阿部かおり氏、

地区代表、認知症地域支援推進員



認知症希望大使
丹野智文さん

【問い合わせ先】

宗像市高齢者支援課 吉田 :0940-36-1285